

A photograph of a garden path leading through a white gate. The path is paved with reddish-brown bricks in a winding pattern. The gate is white with decorative scrollwork. Above the gate, there is a large, dense bush of pink roses. In the background, there is a white fence and a house with a brown roof. The overall scene is bright and sunny.

*Welcome
Hana's Garden
Spring*



ダウンロードいただき、ありがとうございます。

24年前、この地に引っ越したのをきっかけに小さな庭を持ち、
幼い子供たちの遊び場として、始めたガーデニング。

当初は、『子供たちがゴロンと寝転がれる芝生のお庭』

南向きで日当たり良好・・・が、夏の日差しは花の生育には過酷で、
『花の土』だけでは、土が硬くなり、花は育つどころかカラカラに。

それを克服するために、色々な書物を読み、園芸家の方のアドバイスを受け、
この土地や環境に合った、土作り、花選びを始めました。

園芸家の方に聞いた言葉があります。

「花を育てるのは、そう難しいものじゃない。
花は、少々過酷な環境でも、そのうち慣れてくる。
育つ環境を理解してやれば。」

以来、様々な花をトライして楽しんでいます。
失敗も繰り返しつつ、花の写真と、花の管理メモを作成しながら、
今回、執筆することを決めました。

私流の育て方で、全てがうまく育つわけではありませんが、
それぞれの環境、花それぞれの
育て方の参考になれば幸いです。



hana's Garden

15年前やってきた苗。こぼれ種から増えてテラスの脇の日陰いっぱい広がっています。

「クリスマスローズ」を育て始めたのは15年前。園芸店に出回っている種類も少なく、小さな苗を購入。育て方がわからないまま、日当たりの良い場所と日陰にそれぞれ一株ずつ植えました。日当たり、日陰それぞれ育ててみた経験で表記しています。環境と生育サイクルさえ把握してあげれば、比較的育てやすく、種がこぼれてどんどん増やすこともできます。



クリーム色で咲き始め、徐々に緑に変化する色も楽しんで。

クリスマスローズ

Helleborus cvs.

科名：キンポウゲ科
学名：Helleborus cvs.
属名：ヘレボラス
別名：レンテンローズ
原産地：ヨーロッパ・アジア
草丈：30cm～60cm
開花期：2月～4月
栽培難易度：★★★★☆

セミダブルアプリコットカラー。
こちらは、鉢植えてテラスのお立ち台



hana's Garden

Spring



古い葉を思い切ってカットすることによって立ち上がった美しい花の姿を鑑賞できます。

クリスマスローズは、環境や成長サイクルさえ整えてあげれば、比較的簡単に株も大きくなり、大きな鉢で豪華な花を毎年楽しむことができます。

活動期に入り、新しい葉が上がってきたら古い葉を思い切ってカット♪

活動期と休眠期があります。

鉢植え：夏の水枯れに注意

生育期には定期的に肥料を

開花期 早春2月～4月

活動期 10月～3月

休眠期 花後～9月

置き場所 活動期：日当たり

置き場所 休眠期：明るい日陰

植替え 休眠期の10月～

クリスマスローズ

早春			春		初夏		夏		秋		冬		
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
生育期			休眠期									生育期	
日当たり			開花			明るい日陰			日当たり				
肥料・植替え			風通し						肥料・植替え				

翌春のこぼれ種の芽
開花までは、数年かかりますが、好きな環境であればこそ。



我が家の場合は、日陰で腐葉土が豊富な場所の苗は、花後もそのままにしておくと、いつの間にかこぼれ種で翌年の春、小さな双葉が沢山出てきています。自然に増えていく姿は、もっとも自然で花が花らしいものです。機会があれば、是非、そんな美しさも楽しんで下さい。



hana's Gargen

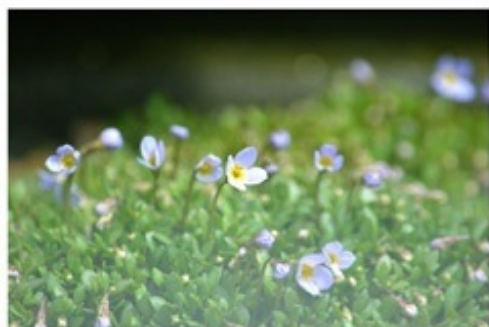
ひなそう

Houstonia caerulea

- 科名：アカネ科
学名：Houstonia caerulea
別名：フーストニア トキワナズナ
原産地：北アメリカ北部
草丈：10cm-20cm
開花期：4月-6月
難易度 (ふつう)
耐寒性 (ふつう)
耐暑性 (ややよわい)

陽だまりで、一斉に咲くと小さな花束のようです。

花径1cm未満の小さな花は、春のお日様が大好き。



6年前、初めて春の園芸店で「ひなそう」を見つけて一目ぼれ。当初、植木鉢に植替えて育てました。…が、日当たりの良い我が家では、花後に暑さ蒸れを起こし、翌年まで持ち越すことができませんでした。今に至るまで、数回失敗を繰り返し、「ひなそう」の好きな環境を整えてあげることができました。早春のお楽しみの花のひとつです。



Spring



hana's Garden

毎年花を咲かせる小型の多年草。草丈は10cm前後で、葉は1cmほどのへら状です。地下茎のように地面を横に走る枝で広がりクッション状に茂ります。1cm前後のかわいらしい花を上向きに咲かせ、花は淡い藤色、白、紫、青のものもあります。

ひなそう

開花期 早春3～5月(秋10、11月)

植替え 開花期前(2、9月)

日当たり～半日陰

肥料は最小限でOK

早春			春		初夏		夏		秋		冬	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
株分け			開花				株分け				開花	
成長期											開花	
表土乾燥時					1日1回						表土乾燥時	

冬の寒風は避け、南向きの陽だまり

夏蒸れに弱いので風通しの良い場所

夏、根元に直射日光が当たらない場所

自然にこぼれ種でふえることも

ロックガーデンでもOK!



初冬に苗を購入し、地植えにしてあげることでしっかり根付いて丈夫な苗となります(^o^)

hana's Garden



hana's Garden

ハナカンザシ(花簪)

Rhodanthe chlorocephala ssp. rosea

科名：キク科
 属名：ローダンセ属
 別名：ヘリクリサム
 原産地：オーストラリア
 草丈：15~25cm
 開花期：4月-7月
 半耐寒性一年草
 秋まき（本来は多年草）

お正月が近づくと、園芸店で目に留まる花。
 和名らしい花の名前と、風に揺れる花姿は、女性に人気。



hana's Garden



hana's Garden

日光を好み日中は花を開き、夜や天気の悪い日は花を閉じます。本来は多年草植物ですが、夏越しが難しいため一年草として扱われ年末から開花苗が販売されています。
 一見、可憐で室内で育てるようには見えますが、霜や雨に当たらなければ、屋外で育ててあげた方が美しく育ちます。また草刈りに強く、冬の間は土が乾いたら水をあげる程度で大丈夫です(^o^)



Spring



hana's Garden

ハナカンザシ(花簪)

水やりは花に水がかからないようにキマツケテネ♪



(左)屋根のあるテラスで冬のお立ち台の主人公。



hana's Garden

(右下)殺風景になりがちの季節、陽だまりでシャラシャラと揺れる姿が、心を和ませてくれます。

●栽培ポイント

日当たりと水はけのよいところを好みます。多湿を避け、乾燥気味に管理します。花が雨に弱いので、屋根のある明るい場所での管理してあげると、長持ちします。

早春			春		初夏		夏		秋		冬
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
日当たり				切戻し				秋まき			
開花											
雨避けのある屋根の下など											

開花期

早春1~7月

切り戻して、長く楽しむ

明るく、雨避けのある屋根の下で

肥料は特に必要なし

日当たりと風通しの良い軒下

夏蒸れに弱いので切り戻し

乾燥に強い。多湿に弱い。

長く楽しむために切り戻しを(^o^)
地表から10センチか15センチほどを残して切り戻します。その際葉っぱが残るように切ると脇芽が出て再び花付きがよくなります。形がよく見えるように、花がさいていた位置から何センチか切るだけでも効果はあります。切り戻しには風通しをよくして、高温多湿の対策にもなります。

早春～春

Spring



科名：キンポウゲ科
 学名：Adonis amurensis
 別名：ガンジツソウ（元日草）
 原産地：日本・中国東北部・シベリア東部
 草丈：10cm-30cm
 開花期：2月-4月
 植替え：9, 10
 肥料：4, 5, 9
 耐寒性（強い）

葉樹の中で冬を越し、枯葉の下から蕾が見え日差して花が開く早春の花。莖が枯葉の中で伸び、地表に花だけをのぞかせて咲く姿は、春の訪れを真っ先に知らせてくれ、名前通り、縁起のよい花として、よくお正月用の盆栽にも利用されます。

フクジュソウ(福寿草)

冬～春 日当たりの良い場所で管理

夏以降(休眠期)日陰または木陰で管理

休眠期 地上部は枯れます。

開花期 早春2月ごろ

肥料 花後、活動期前(5, 6, 9月)

冬は寒風に注意

植替え 9月～10月

置き場所 落葉樹の下など



一度自生をすると、株が年々増えて沢山の花がつくので早春のお楽しみスポットです。



春の訪れ♪ 197-をくれる♪



(写真右下)11月頃よく見ると花芽が見え始め、活動期に入っているのがわかります。(写真右)神戸森林植物園の福寿草の様子。



hana's Garden
2011. 4. 12

バイカオウレン

Coptis quinquefolia

科名：キンボウゲ科
学名：*Coptis quinquefolia*
別名：ゴカヨウオウレン
原産地：本州（福島以南）四国
草丈：5cm～10cm
特徴：常緑多年草
開花期：3月～4月（2月下旬～）
栽培難易度：★★★★☆
（環境を工夫すれば、比較的容易です）



hana's Garden
2011. 2. 14



hana's Garden
2011. 4. 12



Spring



科名：キンボウゲ科
 学名：Coptis quinquefolia
 別名：ゴカヨウオウレン
 原産地：本州（福島以南）四国
 草丈：5cm～10cm
 特徴：常緑多年草
 開花期：3月～4月（2月下旬～）
 栽培難易度：★★★☆☆
 （環境を工夫すれば、比較的容易です）

バイカオウレン（梅花黄蓮）

開花期 早春2～4月

植替え 4月～5月（花後）

冬：日当たり、陽だまり

夏：風通しの良い明るい日陰

Memo
 冬によく日に
 当ててあげると
 沢山花が咲きますヨ

Memo
 傷んだ葉は、
 こまめに
 取り除きましょう

- 通湿な環境、落葉樹林
- 気温の上昇時、風通しの良い場所へ移動
- 葉が傷むので寒風に注意

●特徴

日本では、北海道から九州にかけて分布します。花の咲く時期は主に4月～5月とされていますが、2月の下旬～3月に、咲き出すこともあります。落葉樹林の中や、適湿な環境で自生します。

●栽培のポイント

日当たり・置き場所 春と秋は午前中いっぱい日が当たる場所で育て、初夏からは直射日光を避けた風通しの良い明るい日陰へ移動します。冬は霜や寒風の避けられる軒下屋根のある明るい場所で育てます。沢山花をつけた場合は、冬からよく日に当てます。

鉢植えの場合 水やりを忘れずに。枯れた葉っぱをそのままにしておくと風通しが悪くなるので、こまめに取り除きます。耐寒性があり冬でも葉は枯れず常緑ですが、寒風に当たると葉が傷んでしまいます。また、春の日差しが強くなると、根や葉が弱り株数が減ってしまいます。花後は早めに風通しの良い明るい日陰に移動した方が良いでしょう。



(右)雪が残る森林の隅だまりで自生のバイカオウレンを見つけ、感動もでした。

地植えの場合 夏は日陰になり冬から春にかけては日がよく当たる広葉樹の下が条件的に適しています。

肥料 花後～6月。9月中旬～10月。暑い時期の肥料は、避けます。

用土 鹿沼土に腐葉土を混ぜ、水もちを良くするために刻んだ水ゴケを少量混ぜ込んでよい。腐葉土の上に根を広げるように自生しているので、地植えの場合は適した環境に近づけるために、あらかじめ腐葉土を混ぜ込んでおくといでしょう。

植替え 植え替えは花後の4月～5月が適期です。秋10月にも可能ですが、生長期に入る前の花後の方が適しています。鉢植えなら2年に1回、地植えなら4年に1回くらいが植え替えの目安です。



hana's Garden Spring

<http://p.booklog.jp/book/43902>

著者 : hana

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/hanahana500/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/43902>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/43902>

電子書籍プラットフォーム : ブックログのpapier (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社paperboy&co.